

第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画における重点事業実績調査票

資料 6

基本目標Ⅲ 子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり

施策目標（１）地域における子育て支援の推進

No			① 事業名	② 事業概要	③ 担当課 (室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価　＜A（十分効果的に実施）　B（概ね効果的に実施）　C（内容の見直しが必要）　D（施策の検討が必要）　E（未実施）＞ ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等					
								第1期計画		第2期計画			
								令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
Ⅲ	1	1	大学生等による子どもの多様な学びの機会提供に対する支援	＜新規事業＞ 大学教員、学生サークル等による子育て支援サポート活動に対する支援	市民参画課	活動に対する支援の実施	⑤	E（未実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）
							⑥		同志社大学ボランティア支援室による大学生と子どもの交換ノート事業「エール交換プロジェクト」の実施に対して支援した。 また、同志社大学赤ちゃん学研究センターの開催する「赤ちゃん学フェスティバル」を後援し、広報等を行った。	同志社大学ボランティア支援室による大学生と子どもの交換ノート事業「エール交換プロジェクト」の実施に対して支援した。 また、同志社大学赤ちゃん学研究センターの開催する「赤ちゃん学フェスティバル」を後援し、広報等を行った。	同志社大学グローバルコミュニケーション学部が講義の一環で「多文化共生」をテーマに子ども向けにイベントを行うに当たり補助金支援や広報活動等の支援を行った。同志社大学赤ちゃん学研究センターの開催する「赤ちゃん学カフェスペシャル」を後援し、広報等を行った。	同志社大学グローバルコミュニケーション学部が講義の一環で「多文化共生」をテーマに子ども向けのイベントを企画するに当たり支援を行った。同志社大学赤ちゃん学研究センターが開催する「赤ちゃん学カフェスペシャル」を後援し、広報等を行った。	同志社大学グローバルコミュニケーション学部が講義の一環で「多文化共生」をテーマに子ども向けのイベントを企画するに当たり支援を行った。
Ⅲ	1	2	高齢者いきいきポイント事業	＜新規事業＞ 高齢者いきいきポイント事業に登録されているボランティアを依頼により、保育所等のこども関連施設に派遣するもの	高齢者支援課	登録者数の増加	⑤	A（十分効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）
							⑥	登録事前講習会を2回開催（コロナの影響により1回中止）し、新規登録者を11人増やすことができた。 登録者 298人	登録事前講習会を2回開催し、新規登録者を5人増やすことができた。 登録者 303人	登録事前講習会を3回開催し、新規登録者を11人増やすことができた。 登録者 314人	登録事前講習会を2回開催し、新規登録者を6人増やすことができた。 登録者 320人	登録事前講習会を3回開催し、新規登録者を9人増やすことができた。 登録者 329人	登録事前講習会を3回開催し、新規登録者を9人増やすことができた。 登録者 338人
Ⅲ	1	3	子どもの居場所づくりの推進事業	＜拡充事業＞ 子どもたちが安心して過ごせる場所の確保 再掲Ⅱ-（2）	社会教育課	15か所で実施	⑤	A（十分効果的に実施）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）
							⑥	42区・自治会のうち15箇所で開催	42区・自治会のうち5箇所で開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催できなかった。	42区・自治会のうち6箇所で開催。 2箇所で開催型新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。	42区・自治会のうち9箇所で開催。	42区・自治会のうち8箇所で開催。	42区・自治会のうち6箇所で開催
Ⅲ	1	4	地域における子育て支援体制の充実事業	＜新規事業＞ 幼保連携型認定こども園の整備に併せて、地域子育て支援センターを整備 再掲Ⅰ-（4）	子育て支援課	北部市立幼保連携型認定こども園に併せて整備	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	C（内容の見直しが必要）		B（概ね効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
							⑥	北部市立幼保連携型認定こども園に併せて地域子育て支援センターについて、基本構想を策定した。	北部市立幼保連携型認定こども園に併せて地域子育て支援センターについて、基本設計を行った。	幼保連携型認定こども園に地域子育て支援センターを併設することは計画変更となったため、今後見直しが必要。		「子育て支援拠点再編について」を策定し、地域子育て支援センターの整備について計画を立て直した。	地域子育て支援センター三山木保育所を閉鎖し、利便性の高い近隣の空き店舗へ移転し、地域子育て支援センター三山木として開設した。

施策目標（２）子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり

No			① 事業名	② 事業概要	③ 担当課 (室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 ＜A（十分効果的に実施） B（概ね効果的に実施） C（内容の見直しが必要） D（施策の検討が必要） E（未実施）＞ ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等						
								第1期計画		第2期計画				
										令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅲ	2	1	インフラ長 寿命化計画 策定事業	＜新規事業＞ 長寿命化修繕計画及び更新計画を 策定する	こども未来 政策推進室 ・ 保育幼稚園 課	計画策定と修繕工 事の実施	新たに、令和3年 度を始期とする学 校施設長寿命化計 画を策定して、修 繕工事等を実施し ます。 計画は、令和6年 度末までに、見直 しを行います	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
								⑥	学校施設長寿命化計画を策定に着手した。	学校施設長寿命化計画を策定した。	学校施設長寿命化計画に基づき、大住幼稚園、三山木幼稚園と新幼稚園で園舎改修工事を行った。	学校施設長寿命化計画に基づき、大住幼稚園のこども園化と新幼稚園で園舎改修工事を行った。	河原保育所分園を本園へ統合した。	令和6年度末で南山保育所を三山木保育所へ統合、河原保育所をこども園化し、田辺東幼稚園を統合した。
								⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
								⑥	学校施設長寿命化計画を策定に着手した。	学校施設長寿命化計画を策定した。	田辺小学校北校舎・中学校舎棟長寿命化基本計画を策定した。	田辺小学校北校舎棟長寿命化実施計画を策定するとともに、仮設校舎の整備を行った。新小学校体育館改修工事の実施計画を策定した。	田辺小学校北校舎棟長寿命化工事を実施した。また、新小学校体育館改修工事も実施した。	田辺小学校中学校舎棟長寿命化工事を実施した。また、新小学校体育館改修工事も実施した。学校施設長寿化計画の改定に着手した。
								⑤	E（未実施）	E（未実施）	E（未実施）	E（未実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
								⑥					福祉施設等長寿命化計画を策定した。	大住ふれあいセンター整備基本構想を作成した。

Ⅲ	2	2	市立幼保連携型認定こども園の整備事業	＜新規事業＞ 市立大住幼稚園を建て替えに併せて北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園として整備する 体調不良児対応型の病児保育事業の実施 一時保育事業の実施 再掲Ⅰ－（３）	こども未来政策推進室・保育幼稚園課	北部市立幼保連携型認定こども園の開園	新たに、令和5年4月に、北部市立幼保連携型認定こども園を開園します。	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	
			⑥	京田辺市立大住幼稚園の改築・こども園化に向け、基本構想を策定した。	京田辺市立大住幼稚園の改築・こども園化に向け、基本設計・実施設計を行った。	京田辺市立大住幼稚園の改築・こども園化に向け、基本設計・実施設計を行った。	京田辺市立大住こども園として令和5年4月に開園することができた。 また、体調不良児対応型病児保育及び一時保育についても実施している。	京田辺市立大住こども園において、体調不良児対応型病児保育及び一時保育を実施した。	京田辺市立大住こども園において、体調不良児対応型病児保育及び一時保育を実施した。						
Ⅲ	2	3	通学・通園路の安全対策事業	＜拡充事業＞ 踏査事業の実施 交通安全施設（ゾーン30・路肩のカラー塗装等）の設置及び管理 通学路安全推進会議の開催 ボランティア、通学安全整理員の配置	保育幼稚園課	踏査事業の実施	引き続き、安全推進会議活動指針に基づき、踏査事業を拡充して実施します。	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	
								⑥	各施設から提出された危険箇所について、点検が必要な場所の点検を行った。	各施設から提出された危険箇所について、点検が必要な場所の点検を行った。	各施設から提出された危険箇所について、進捗管理を行った。	各施設から提出された危険箇所について、進捗管理を行った。	各施設から提出された危険箇所について、進捗管理を行った。	河原保育所において、同志社女子大学の学生を中心とした「園庭改修プロジェクト」を実施。学生の視点を活かした園庭改修案を検討した。	
								学校教育課	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
								⑥	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	会議・点検を実施し、交通安全対策について順次対応	
								都市整備課	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
									⑥	自転車歩行者専用道整備工事を実施 山手東上西野線 L=400m（H30・R1）	矢羽根型路面標示設置工事を実施 興戸三山木線 L=165m	通学路の歩道整備工事を実施 関屋長尾線 L=30m	通学路の道路改良工事を実施 長尾谷大欠線 L=350m	通学路の道路改良工事を実施 長尾谷大欠線 L=350m	通学路の道路改良工事を実施 東興戸線 L=200m 三山木宮津線 L=14m 新興戸線 L=6m
									施設管理課	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	E（未実施）	B（概ね効果的に実施）	A（十分効果的に実施）
								⑥	カラー塗装等を行った。 ・カラー塗装26㎡ ・薄層カラー舗装769㎡	カラー塗装等を行った。 ・カラー塗装899㎡ ・薄層カラー舗装379㎡	コロナにより対策要望箇所の確認ができなかったため実績なし ※令和4年度 カラー塗装800㎡（予定）	カラー塗装等を行った。 ・カラー塗装573㎡ ・薄層カラー舗装16㎡	カラー塗装を行った。 ・カラー塗装258㎡	路面標示設置工事を行った。 ・路面標示4箇所	
Ⅲ	2	4	公園の新設・整備事業	＜拡充事業＞ 市民が緑にふれあう交流拠点として田辺公園拡張整備事業の推進	公園緑地課	田辺公園拡張工事実施	令和5年度末までに、田辺公園を拡張工事を実施し、供用を開始します。	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	
								⑥	・支障物件撤去工事を実施した。 ・公園の整備内容検討のため、ワークショップを開催した。	・ワークショップの成果に基づく基本設計・実施設計を策定した。 ・事業用地の取得（5筆0.26ha）をした。	・令和4年度の公募に向けた市場調査（マーケットサウンディング）を実施した。 ・埋蔵文化財調査、造成工事、雨水貯留施設設置工事に着手した。	・公園の整備、管理運営事業者の公募及び決定	・田辺公園の拡張整備工事に着手した。	・田辺公園の拡張整備工事が完了した。	
Ⅲ	2	5	園庭改善プロジェクト	＜新規事業＞ 子どもたちの好奇心や想像力を育む園庭（砂場）づくり	保育幼稚園課	2施設以上で整備	新たに、令和6年度末までに、市内特定教育・保育施設の2施設以上で整備を行います。	⑤	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	A（十分効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	B（概ね効果的に実施）	
								⑥	三山木保育所園庭に砂場を1箇所を増設した。	三山木保育所園庭に築山を1箇所を新設した。	整備した砂場・築山の効果を検証した。 また「スーパークレイ」と呼ばれる特別な砂を用いた実証実験を行った。	大住こども園の開園にあたり、乳児園庭と幼児園庭に開閉式の日除けを備えた砂場を整備した。	草内保育所・三山木幼稚園において、同志社女子大学の学生を中心とした「砂場出前保育」を実施。こども達の砂場へに感心・興味が高まるとともに、学生にとっても良い学びの場となった。	河原保育所において、同志社女子大学の学生を中心とした「園庭改修プロジェクト」を実施。学生の視点を活かした園庭改修案を検討した。	
Ⅲ	2	6	自転車の乗り方教室	こども自転車安全教室開催事業 ツアー・オブ・ジャパン京都ステージの開催を契機として、安全な自転車利用を進めるとともに、自転車に乗る楽しさを体験することにより、国際自転車レースがあるまちへの誇りや愛着形成につなげる	文化・スポーツ振興課	実施	令和6年度末までに、毎年度1回以上、こども自転車安全教室を開催します。	⑤	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	C（内容の見直しが必要）	B（概ね効果的に実施）	
								⑥	新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止（申込者数は31人）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	4年ぶりに、ツアー・オブ・ジャパン京都ステージが開催となったが、こども自転車安全教室の開催事業については中止した。	ツアー・オブ・ジャパン京都ステージの開催に合わせて、大会当日に普賢寺小学校において自転車教室を開催した。	